

(10) 令和2年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市母子・父子福祉センター			
所在地	四日市市諏訪町2番2号 四日市市総合会館4F 設置年月：平成2年8月1日			
指定管理者	名称	社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会		
	代表者	会長 伊藤 八峯		
	住所	四日市市諏訪町2番2号		
担当部課 (問合せ先)	こども未来部 こども家庭課 TEL：059-354-8276 E-mail：kodomokatei@city.yokkaichi.mie.jp			
設置目的	ひとり親家庭の心身の健康を保持し生活の安定と向上を図るため、ひとり親家庭等からの各種の相談に応じるとともに、生活指導及び生業の指導を行う等の福祉の増進のための便宜を総合的に供与することを目的として設置。			
設置の根拠 (法令、条例等)	母子及び父子並びに寡婦福祉法及び四日市市母子・父子福祉センター条例			
施設の概要	敷地面積(m ²)	-	延床面積(m ²)	222
	設備の概要	四日市市総合会館4階の一部を事務室(相談室含む。)として使用しているほか、講座・サークル活動においては、別途技能習得室や会議室も、用途、人数に応じて活用している。		
	事業概要	①ひとり親家庭等を対象とした各種相談受付 ②技能習得や仲間づくりを通じた生活の安定向上と自立支援のための講座等の企画実施 ③利用者の交流、親睦、協力関係を深めるための自主サークル活動の支援 ④ひとり親家庭等の福祉の向上に取り組む関係団体の主体的活動を促進するための支援 ⑤施設の使用許可に関する業務		

■ モニタリングの総合コメント

協定に基づき、適切に施設管理・運営が行われており、指定管理者として市が要求する基準はクリアしています。

令和2年度は緊急事態宣言の発出のため、平成31年度と比較すると、自主サークル支援事業の開催日・人数は減少したものの技能習得講座・相談件数は増加しており、コロナ禍においてもひとり親世帯の支援にあたることができたと考えられます。

事業の実施においても、技能習得の機会や交流の場の提供等、ひとり親家庭の福祉の向上等を目的として、適切に実施されてきました。また、指定管理者である社会福祉協議会は財政基盤が安定しているため、指定管理者としても問題はないと考えられます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

施設の価値を高め、よりよい管理運営のために下記の点を踏まえた働きかけや改善提案を行います。

- ・技能習得講座において、満足度が高く参加人数が増加している点は評価できるため、今後も同程度の水準で継続して開催するよう求めていきます。
- ・自主サークル支援事業について、2事業が中止になったことを受け、今後の展開や広報活動等どのように支援していくのかを確認します。
- ・収支面について、コスト意識を持った運営を継続していくことに加え、コロナ禍において求められるひとり親の支援内容を適切に行えるよう求めていきます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

ひとり親家庭等からの相談受付、ひとり親等の就労のための技能習得及び交流のための講座を企画するとともに、四日市母子寡婦福祉会の支援やサークル活動の支援を行いながら、ひとり親家庭同士の交流の場や機会を提供することにより、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るといふ施設の目的に沿った運営管理が行われました。同時に、施設の使用許可を含め、市民の平等な利用の確保に努めました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

ひとり親等の就労のための技能習得及び交流事業のための独自講座として、パソコン講座及び飾り巻き寿司講座、親子デイキャンプが行われ、受講者の満足度も高く、一定の評価ができます。パソコン講座は前年度よりも受講人数が増加しているため一定の評価ができますが、一方で飾り巻き寿司講座、親子デイキャンプは定員より募集人数が少なかったため、広報については今後の検討を要します。相談事業に関しては、より相談者に満足していただけるよう、専門性を更に高める必要があります。また、サークル活動支援事業に関しては、社会福祉協議会の広報誌である「かけはし」や社会福祉協議会のホームページで周知活動を行ったものの、コロナ禍や参加者の高齢化により、参加者が減少しており、今後の取組みについて検討する必要があると思われま。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

条例や規則を遵守し、適切な事業運営がなされました。センターは、2名常駐となるよう、嘱託職員1名及び臨時職員2名、社会福祉協議会正職員(兼務)1名が交代で事務所に在席しました。朝礼は毎日欠かさず行われ、現場と社会福祉協議会事務局との間の連携が図られました。職員への研修としては、定期的にこども家庭課の職員である母子父子自立支援員へ依頼をして、ひとり親家庭への支援施策の勉強会を開催し、センター職員の責任性・実行性の向上に努めました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

毎日の利用状況や事業に関する事務書類を遅滞なく整備し、市への報告期限についても協定どおり遵守されました。経理関係については、社会福祉協議会事務局で適切な管理が行われました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

総合会館での安全管理及び緊急時対応を念頭におきながら、社会福祉協議会事務局と情報共有等の連携を図り、緊急時・災害時に備えました。四日市市社会福祉協議会第1次事業継続計画(BCP)には緊急時の対応が明記されており、当該計画の内容を職員一人ひとりが理解するよう努めました。防災訓練については、社会福祉協議会で行われた訓練に所長が参加し、臨時職員に対してはその内容を共有するなどして、防災意識を高めました。

社会性（環境等への配慮）

コピーの裏紙利用、廃棄物の分類、不用な電灯の消灯など、センター職員自身が環境負荷を軽減するという視点を忘れず、利用者に対しても同様のことを求める等、環境への配慮が徹底されました。

事業収支

経済性

施設の経費節減や業務運営の改善による支出抑制に取り組み、適正な経理が行われました。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表などを分析した結果、大きな問題は無く、社会福祉協議会の公共性からの財政基盤も含め、安定していると判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

障害者雇用率については2.55%（令和元年度3.26%）と、昨年度よりは下がったものの、法定基準である2.2%を上回っており、障害者雇用に向けた取組みが維持されていました。

令和2年度 四日市市母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	243日	243日	0日	コロナ禍において、感染症蔓延防止対策を行いながら計画通りに実施できた。	適
開館時間	9:00～17:00	9:00～17:00	計画通り		
委託・提案事業開催数	4回	4回	0回		
自主事業開催数	-	-	-		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	利用者数	個人	2,233人	2,884人	651人	・利用者数について、コロナ禍のため昨年と比較して母子寡婦福祉会関係の相談件数が増加し、それに伴い全体の相談件数が増加した。 ・委託・提案事業について、技能習得事業の実施方法を変えたため、参加人数が大幅に増加したことは評価できる。来年度以降もこの人数を継続するよう求める。 ・自主サークル支援事業について、4、5月に緊急事態宣言が発令された点と、手芸・リフォームを令和2年度中に中止した点により、参加者数が減少した。
		団体	0人	0人	0人	
		計	2,233人	2,884人	651人	
	委託・提案事業参加者数	技能習得事業(パソコン)	72人	163人	91人	
		交流事業(デイキャンプ)	20人	12人	△ 8人	
		交流事業(飾り巻き寿司)	20人	12人	△ 8人	
		自主サークル支援事業	621人	422人	△ 199人	
		計	733人	609人	△ 124人	
	自主事業参加者数	-	-	-		
	合計	2,966人	3,493人	527人		
平均利用率(人/日)	12.2	14.4	2.2	計画通りであった。	適	
平均稼働率(%)	65.9	66.6	0.7			

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
収入	利用料金	-	-	-	収入は指定管理料のみである。	適
	指定管理料	8,217,000	8,217,000	0		
	委託・提案事業	-	-	-		
	自主事業からの繰入金	-	-	-		
	計	8,217,000	8,217,000	0		
支出	人件費	6,905,000	6,596,281	△ 308,719	[勤務体制：正職員1人、嘱託職員1人、臨時職員2人] ・修繕(施設修繕ではない)はなかった。 ・手数料は、交流事業で施設に支払う費用を見込んでいたが、参加人数が見込みよりも少なかったため、予定よりも安く済んだ。 ・賃借料は、コロナ禍のため作品展の規模を縮小したこと等、パーティーを借りる費用が安く済んだため、予算が約9万円余った。 ・収支について社会福祉協議会全体で使用する諸経費を按分して負担している一般管理費の支出が重み、赤字となった。	適
	管理費	758,000	645,619	△ 112,381		
	消耗品費	196,000	202,717	6,717		
	燃料費	0	0	0		
	印刷製本費	20,000	20,350	350		
	光熱水費	0	0	0		
	修繕料	20,000	0	△ 20,000		
	通信運搬費	9,000	10,940	1,940		
	広告料	0	0	0		
	手数料	11,000	1,420	△ 9,580		
	保険料	2,000	5,520	3,520		
	委託料	0	0	0		
	賃借料	500,000	404,672	△ 95,328		
	その他	0	0	0		
	委託・提案事業費	462,000	452,883	△ 9,117		
一般管理費	92,000	1,000,000	908,000			
計	8,217,000	8,694,783	477,783			
収支	0	△ 477,783	△ 477,783			
自主事業	収入	-	-	-	自主事業なし	
	支出	-	-	-		
	収支	-	-	-		

総合コメント

自主サークル支援事業においては、四日市市の広報や「かけはし」等で周知をしているものの、コロナ禍や参加者の高齢化のため利用者は減少している。今後も対策を検討する必要がある。
 技能習得事業については、受講の方法を変え、参加者が増加した点は評価できる。
 コスト管理を意識した運営を継続する必要がある。

令和2年度 四日市市母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
	利用実績	<p>コロナ禍であったが、消毒液の設置など感染症蔓延防止対策を実施した上で計画通り開館した。 開館日数：243日 延べ利用者数：2,884人 稼働率：66.7%</p> <p>相談件数は前年度実績及び実施計画を上回った。 (令和元年度：1,741件→令和2年度：2,884件) その反面、緊急事態宣言による事業中止等の理由から事業参加者数は減少した。(令和元年度：707件→令和2年度：609件)</p> <p>また、事業の実施状況については、技能習得の機会や交流の場の提供による自立支援の取り組みが行われており、評価できる。</p>	適(条)
事業 収支	収入	収入は市からの指定管理料のみである。	適
	支出	ひとり親家庭の福祉の向上等を目的として事業を実施する中で、消毒液の設置等新型コロナウイルス感染症対策も実施できており、コスト意識を持ちながら必要性に応じた運用が実施できている。	適

令和2年度 四日市市母子・父子福祉センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	年度当初書面確認	明確になっている。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	-	-	-
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	4/1、30書類確認	仕様書通りに提出された。	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	-	-	-
		収支予算書・決算書は提出されたか	4/1、30書類確認	仕様書通りに提出された。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	定期的に訪問し、情報共有を行った。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	4/19現地確認	整備、保管されている。	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	4/19現地確認	整備、保管されている。	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	2/16現地確認	整備、保管されている。	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	-	-	-
非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	4/19現地確認	仕様書通りに実装されている。	適	
	緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか 事故等の報告書が提出されたか	- -	- -	- -	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	-	-	-
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	-	-
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	4/19現地確認	整備、保管されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	-	-	-
			法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	-
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	4/19現地確認	整備、保管されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	4/19現地確認	適切に行われている。	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	-	-	-
清掃業務	清掃	清掃は確実に行われているか	4/19現地確認	適切に行われている。	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	-	-	-
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	-	-	-
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	3/15現地確認	適切に管理されている。	適
	防災	マニュアルは作成されているか	2/16現地確認	作成されている。	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	-	-	-
	花壇管理	四季の植栽は適切か	-	-	-
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	4/19現地確認	整備されている。	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	2/16確認	更新されている。	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	-	-	-
	システム管理	更新・変更は常になされているか	-	-	-
			トラブルに対応したか	-	-

総合コメント

報告書等の提出は遅滞なく行われており、適切に業務が行われている。緊急事態の対応等も社会福祉協議会と共有しており、問題はなかった。

令和2年度 四日市市母子・父子福祉センター 事業の実施状況 チェックシート

事業区分	通し番号	項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
委託・提案事業	1	技能習得事業(パソコン)	ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進するための技能習得講座として、パソコン講座を開催 6名まで。 令和2年9月～令和3年2月 実施回数は受講者と相談	97回、述べ163人の受講があった。	実施回数を受講者と講師との相談で決めるというやり方に変え、受講回数が昨年度と比較し、増加した。(昨年度:述べ95名の受講)	適
	2	交流事業(デイキャンプ)	ひとり親家庭の親子を対象に普段できないアウトドアの体験を通じて親子やひとり親家庭同士の交流の場を提供する。 10組程度を予定	1回、12人(5組)の参加があった。	市の広報の掲載や過去の利用者への案内を行い、広報活動を実施したものの、当初予定していた10組には到達しなかった。利用者の満足度が高いため、今後も広報活動については検討する必要がある。	適
	3	交流事業(飾り巻き寿司)	ひとり親家庭の親子を対象に飾り巻き寿司を一緒に作ることを通して親子やひとり親同士のコミュニケーションを取る機会を提供する。 10組程度を予定	1回、12人(5組)の参加があった。	市の広報の掲載や過去の利用者への案内を行い、開催時期を変更することにより、昨年度より参加者は増加した。ただし、当初予定していた10組には到達していないため、今後も広報活動については検討する必要がある。	適
	4	サークル(書道)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	21回、述べ192人の参加があった。 緊急事態宣言のため、4月後半および5月の開催(計3回)は中止とした。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
	4	サークル(手芸)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	6回、述べ14人の参加があった。 なお講師の高齢化、参加者の高齢化、減少のため10月を持って中止となった。	令和2年度をもって中止となったため、新規のサークル活動の開催等を検討する必要がある。	適
	4	サークル(編物)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	21回、述べ93人の参加があった。 緊急事態宣言のため、4月後半および5月の開催(計3回)は中止とした。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
	4	サークル(和裁)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月3回	31回、述べ121人の参加があった。 緊急事態宣言のため、4月中旬、下旬および5月の開催(計5回)は中止とした。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
4	サークル(リフォーム)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	2回、述べ2人の参加があった。 なお参加者の減少、新型コロナウイルス感染拡大のため6月を持って中止となった。	令和2年度をもって中止となったため、新規のサークル活動の開催等を検討する必要がある。	適	

総合コメント

技能習得事業については、計画よりも参加人数が多く、事業の趣旨も適切であった。
 交流事業については、計画より参加人数が少なかったため、広報の方法等を検討する必要がある。
 サークルについては、コロナ禍や講師・生徒の高齢化のため中止になってしまったサークルが2つあり、サークル事業全体の参加者も減少した。今後の取り組みについて、検討する必要がある。

令和2年度 四日市市母子・父子福祉センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	情報交換、連絡が毎月1回のペースで行われた。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	2/16現地確認	保管されている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	4/19現地確認	異常はなかった。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	3/15現地確認	不具合は生じなかった。	適
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	3/15現地確認	修理、更新が必要な備品等はなかった。	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	4/19現地確認	修繕工事はなし。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-	

総合コメント

備品・什器の保守管理は適切になされており、今年度は故障や不具合は発生しなかった。

令和2年度 四日市市母子・父子福祉センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	毎月現地確認	スムーズに予約できた	適
		許可証は速やかに発行されたか	毎月現地確認	速やかに発行された。	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	-	-	-
		ホームページは見易いか	-	-	-
	受付・対応業務	担当者の接客態度は良かったか	毎月現地確認	良好であった。	適
		利用者に対する指導は適切であったか	毎月現地確認	適切であった。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	毎月現地確認	適切であった。	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート	アンケートの結果を確認し、満足のいく内容であった。	適	
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
	清掃業務	トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	-	-	-
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	-	-	-
	警備業務	避難経路には障害物がないか	-	-	-
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	-	-	-
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	-	-	-
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	-	-	-
		草刈りや除草はされているか	-	-	-
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	毎月現地確認	快適に利用できる環境であった。	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	毎月現地確認	適切に分別が行われていた。	適
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	放置はなかった。	適	

総合コメント

運営・維持管理については、毎月1回のペースで担当の職員が現地に訪れて確認したが、適切に管理されていた。